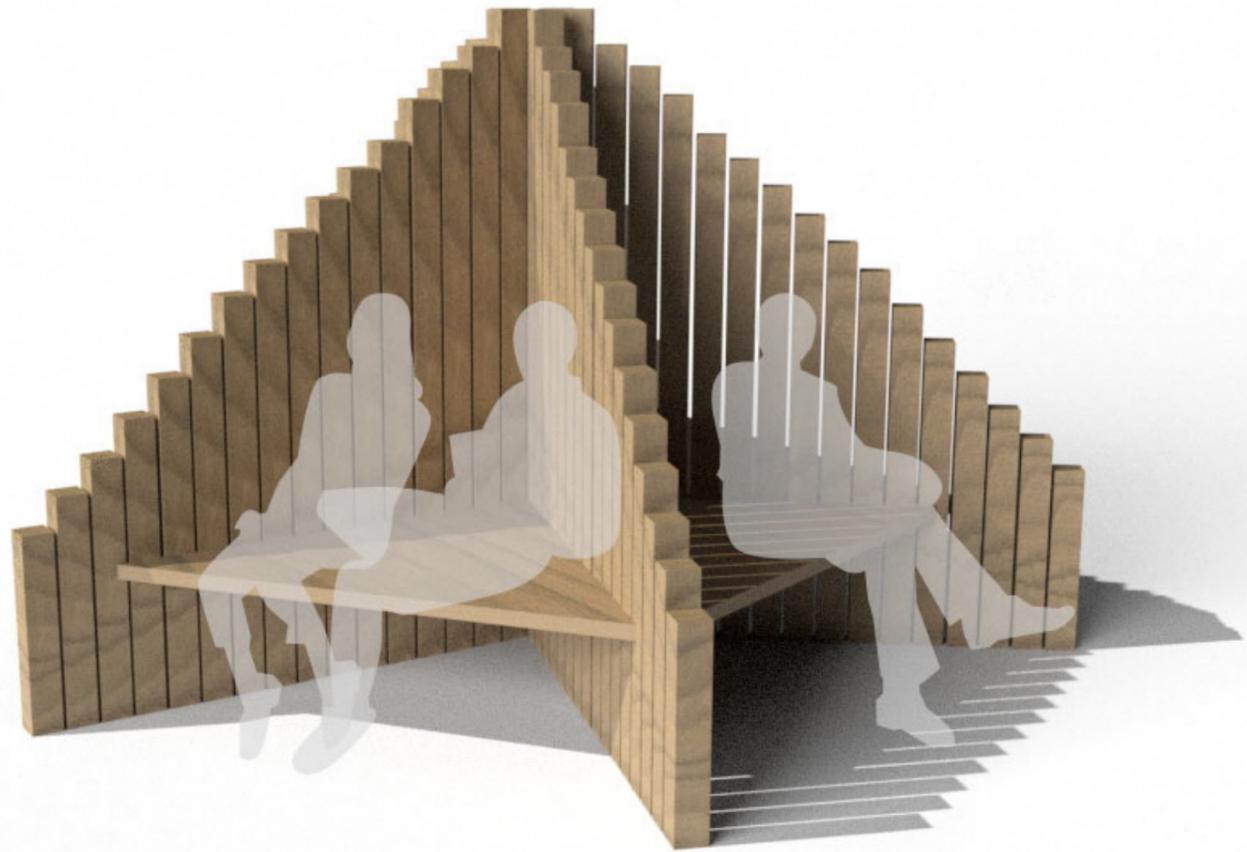
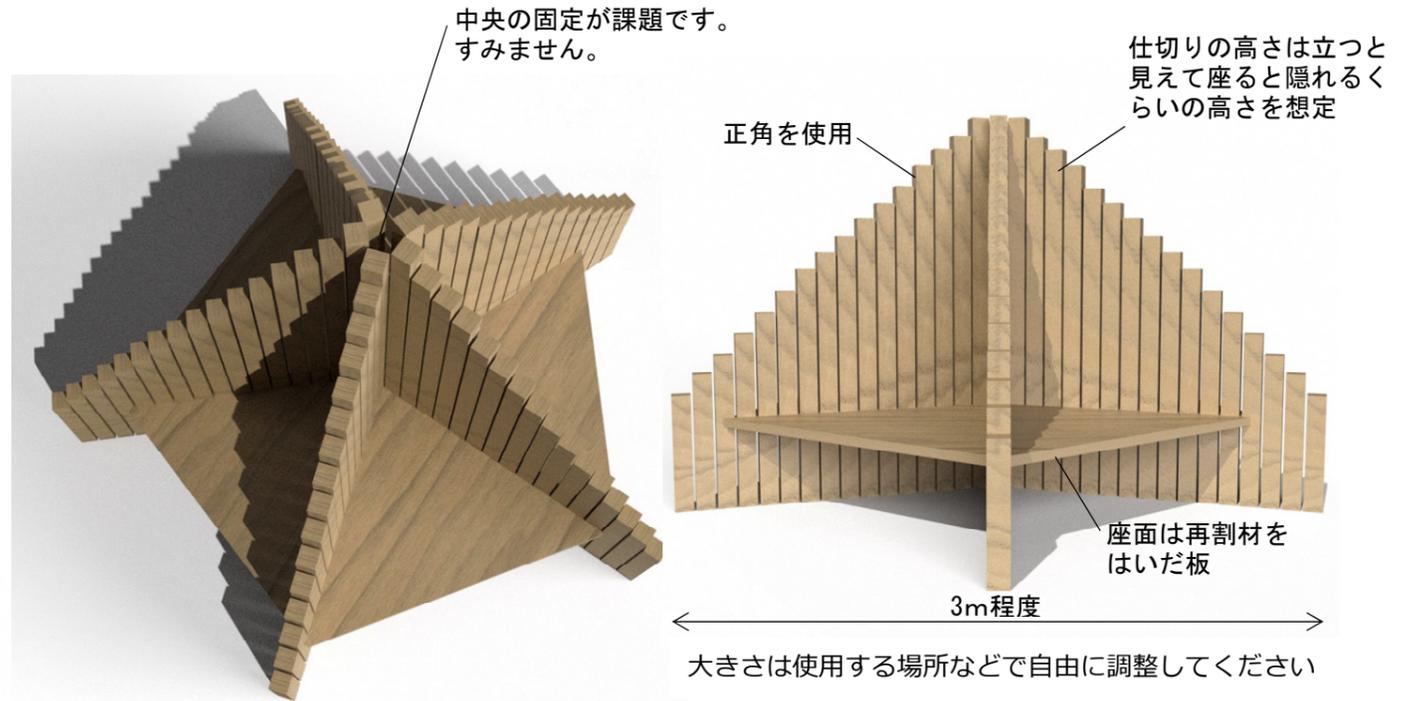


五弁の富士山ベンチ

- ・ オリンピックマークは5大陸を表現していると言われています。
- ・ 「五弁の富士山ベンチ」も5大陸の人たちが、富士山の麓に集うことをイメージしました。
- ・ ただ「多様性」を表現するために外側を向いて座るデザインとしました。
- ・ また、ディスタンスやプライベートを保つ意味で5つの座面の間が仕切られるデザインにしました。
- ・ 正角の形状をなるべく活かすデザインとしています。



イメージ図



使用場所は、公共施設などのロビーなど屋内が向いていると思います。
屋外の場合、防腐加工はもちろんのこと、木口への銅板張りなどの処理が必要。



5つ並べることにより「五輪」を表現できます
(県内に5つ設置でもいいかもしれません)

これは ペン立てです

特徴

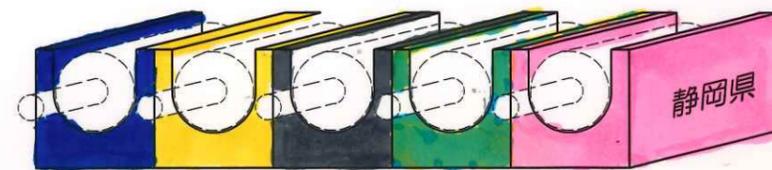
これは、
六個の穴が開いた、
溝に紙がさせる、
紙とペンどちらも立てる、
横6cm、縦6cm、高さ8cmの、
これは素晴らしい、

ペン立てです
ペン立てです
ペン立てです
ペン立てです
ペン立てです
ペン立てです

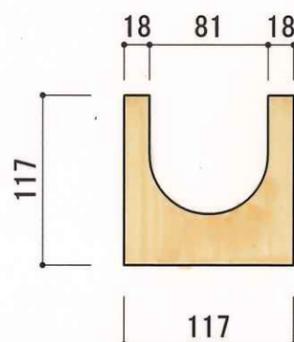
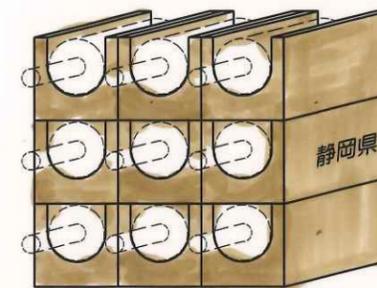
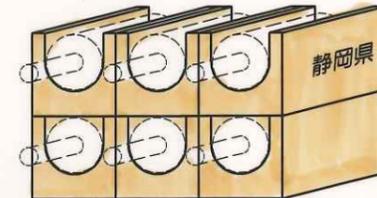
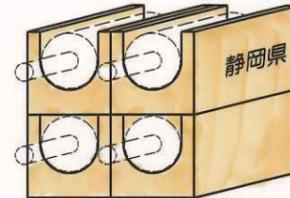
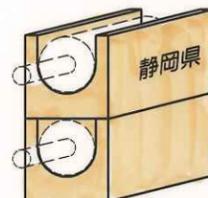
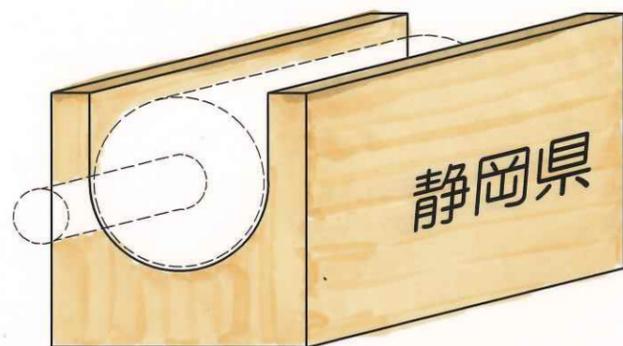


静岡の特産品ボトルラック

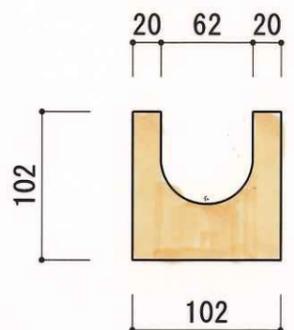
『 静岡ラック 』



オリーブの トラ - !!



120mm角材 → 【750ml | ボトル用】 ※角材の表面は鉋で削り塗装 (約3mm)



115mm角材 → 【500ml | スリムボトル用】 ※角材の表面は鉋で削り塗装 (約3mm)

静岡の特産品ボトルラック 『 静岡ラック 』

東京オリンピックパラリンピック大会の感動を未来に引き継ぐ県産材レガシー。
 どんな配列も可能で、どんなカタチにも積み重ねることができるボトルラックを考案しました。
 ありそうでなかった無垢の木でつくるシンプルデザイン。これからの間伐材利用とすることもできます。
 静岡県の焼き印部分は鉋をかけずにクリア塗装とし静岡県のアクセントとして利用します。
 焼き印のない木材は鉋、やすりをかけて表面をきれいにしてから塗装。
 塗装は自然系オイルで、クリア、白、ブラウンなど、無垢の木の良さを引き立てる色にしてもよし、
 オリンピック大会を思い出すオリンピックカラーで塗装しても良いですね。

いまや静岡県の特産物をつかった飲み物は、ジュースやお茶、日本酒やワイン、ビールなどや多種多様です。
 全国で開催されるマルシェやファーマーズマーケット、特産品展なども年々増えています。
 静岡県の焼き印の入った県産材ボトルラックで、静岡県のレガシーを表現するのはいかがでしょうか。
 私たちに身近で実現可能な「静岡ラック」。木の住まいやお店にも置きたいボトルラックです。

◎静岡県の特産品のボトルたち

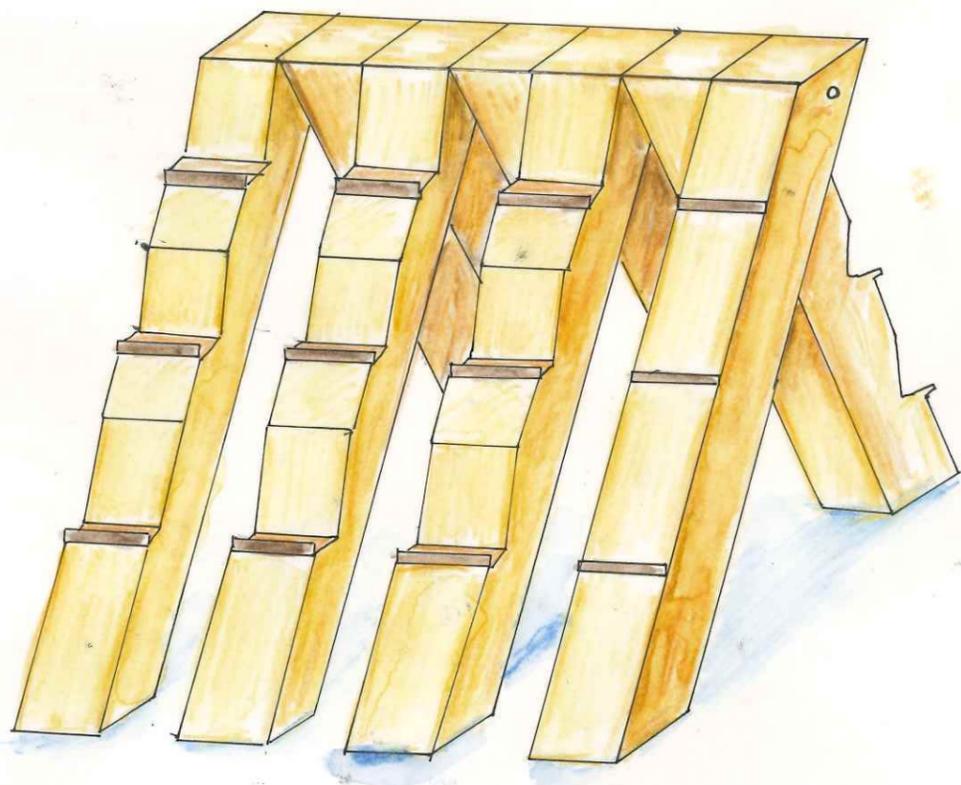
(ワイン、お茶、ジュース、日本酒、梅酒など多種多様にある静岡県の特産品。全国で開催されるマルシェやファーマーズマーケット、展示会でも使えます。シンプルなデザインなのでお店のインテリアにも。)



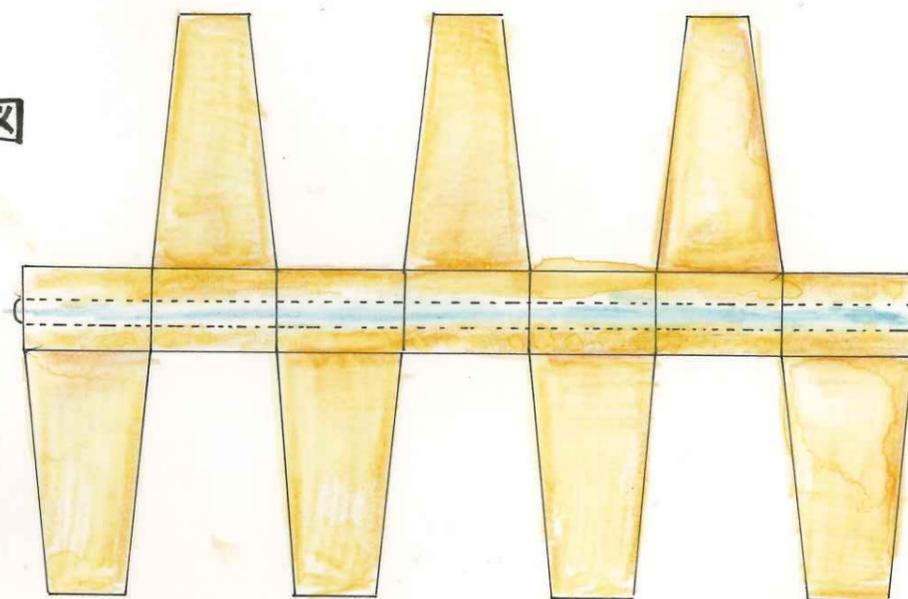
2-118

～角材を使ったブックラック～

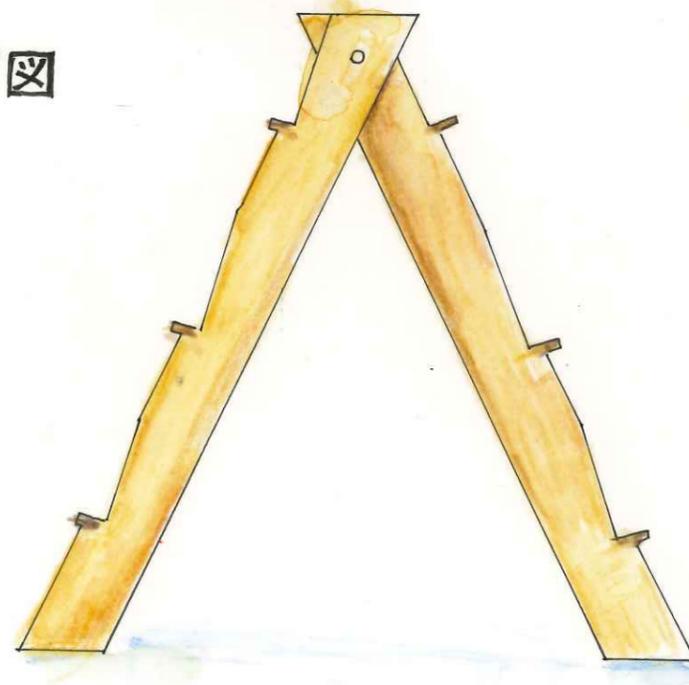
スケッチ



平面図



立面図

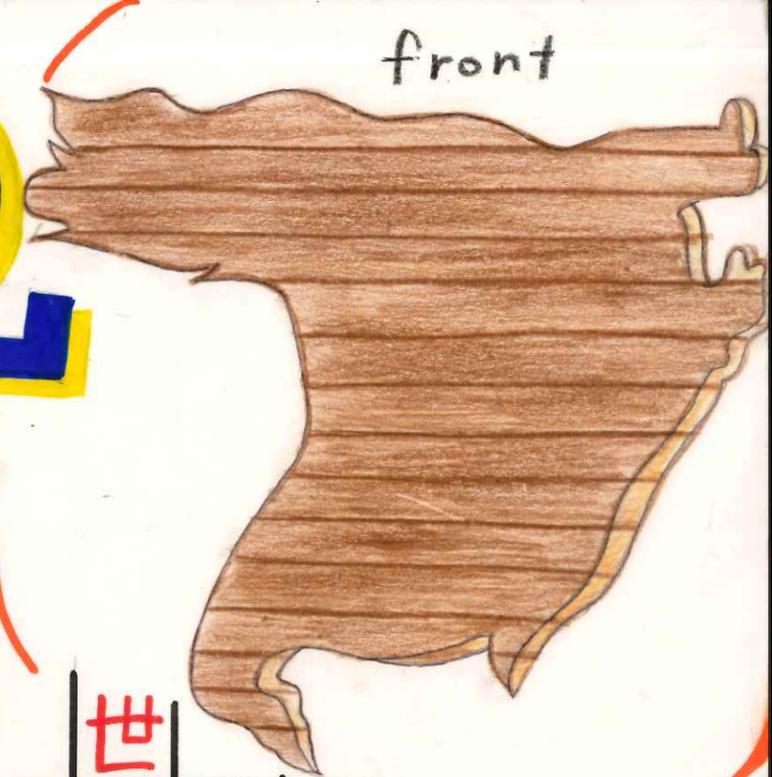
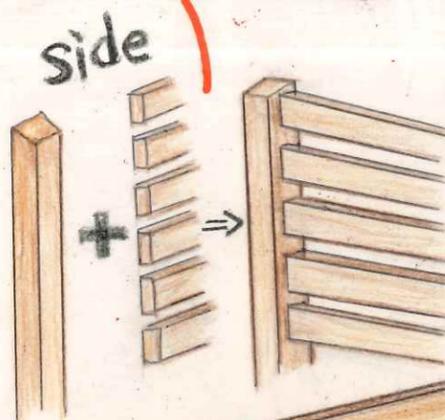
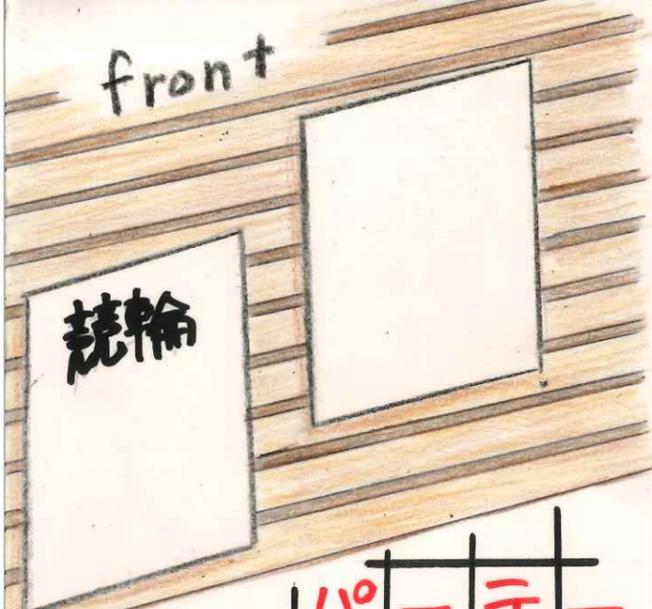


設計主旨

多くの人に利用してもらえるように本の紹介等に
使えるブックラックを考えました。

希望する小・中・高校や公共機関に置いてもらい
ます。また、折りたたみができるので使わない時も
あまり場所をとりません。

「WORLD」



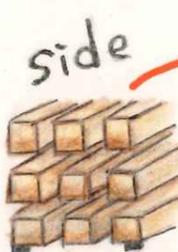
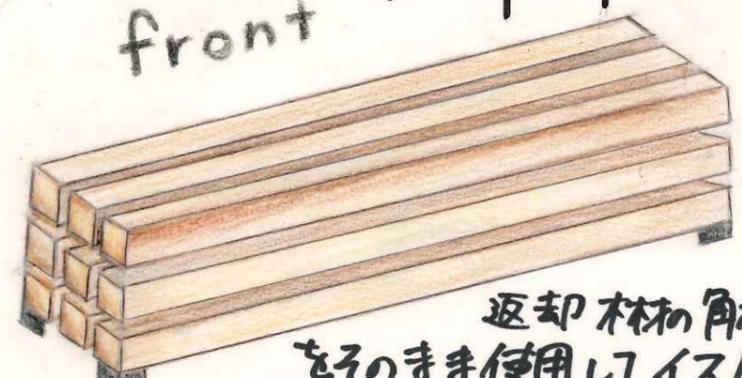
パーティション
 ショ
 様々な方向から光が
 入ってくるかもしれないと
 いう状況は、心落ち
 ついて過ごすことは
 出来ないと思っ、1つ1つ個
 室にするのは交流がしにく
 為、パーティションをしてみました。
 パネルには木目柄、パブリック空間に
 ついてのことを見せるものを残したいと考え
 ました。

ロン
 チェア



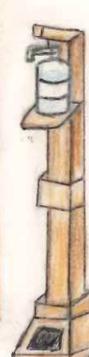
世界地図

選手村ビレッジプラザ建設の使用さ
 した木材。木目柄のパネルを
 大会中に数多くの外国人と触れあ
 ったことを目でも知、
 もらうためのモチフ
 にしました。

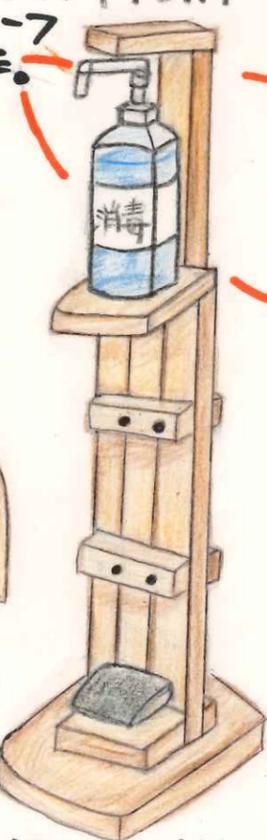
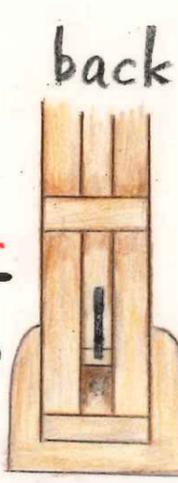


返却木材の角材
 をそのまま使用してイスに
 して休憩のとこりようにしています。
 中継、木の肌触りの良さを感じてお返
 すようにしたいと考えました。
 長くしたのは、人との会話も楽しんでほしい
 からです。

お返すの案を通して
 「静岡と世界が繋がっていた」ということを
 表現してみました。そのぞうに使用する木材は
 元々ついている「静岡県」の焼き印はそのま
 まの状態で使用したいと考えています。選手村と交わ
 りたいそのまの状態で残したいからです。



消毒



お返すはまだ心配のあ
 る新型コロナウイルス
 感染症。予防対策の
 一つとして消毒が挙げられます。
 そして手で押し出すのは不特定
 多数の人が触るので、怖いも
 いるかもしれない。なので足で押して直接肌が
 触れ合えないようにしています。

多様性のフラワーベース

オリンピックのエンブレムである組市松紋にインスピレーションを受けた花器です。

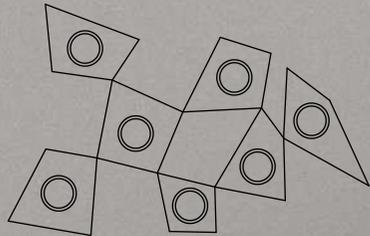
コロナによる新しい生活スタイルにより花を飾る人が増えています。

花を飾る人は毎日手入れをし、眺めて楽しめます。

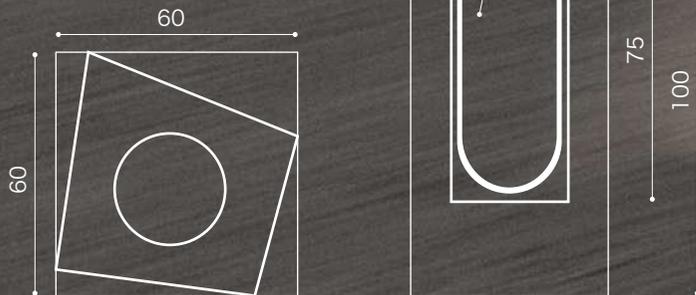
生活の中に常に視界に入ること暮らしになじんでいくことが一番のレガシーになるのではないのでしょうか。

オリンピックは多くの勇気や感動を与えてくれました。

花もまた日々の活力を与えてくれるでしょう。



20mm程度の試験管を使用



60mm角材をランダムに加工する

